

登録No. S-052
 登録名 IRIS療法
 催吐性リスク 中等度+オプション
 適応疾患 結腸・直腸癌
 投与スケジュール

	薬剤	投与量	最大投与量	投与日	投与経路	投与時間	備考
Rp.1	S-1	80~120mg/body/day	150mg/body	d1~14	p.o.	分2	2週内服2週休薬
Rp.2	グラニセトロンバッグ デキサメタゾン	100mL/body 4.95mg/body		d1・15	d.i.v.	30min	アプレピタント併用
Rp.3	イリノテカン 生食	125mg/m ² 500mL/body		d1・15	d.i.v.	90min	
Rp.4	ラモセトロンOD錠	1錠		d2~4	p.o.	頓用	症状に応じて増減

1クールの間 4週間
 その他（副作用・PS規定等）

副作用：下痢、発熱性好中球減少、汎血球減少、肝障害、間質性肺炎など。

PS規定：0~2

状態に応じてS-1及びイリノテカンは適宜減量。
 イリノテカン投与前にUGT1A1測定が望ましい。
 イリノテカン投与に際し下痢予防法を講じる。

例) 酸化マグネシウム 1.5g
 メトクロプラミド 3T
 炭酸水素ナトリウム 1.8g 食間
 ウルソデオキシコール酸 3T

) 分3 3~4日間